

Appendix Datamap 005

名称	森林系バイオマス（林地未利用材）		全道版	地域版
			○	-
目的	木質系のバイオマス利用で想定される「林地未利用材」から得られる低位発熱量の導出			
内容 [数値の単位]	森林施業で発生する林地未利用材の低位発熱量（ウェットベース10～50%）[GJ/年]			
データ年	平成26(2014)年～平成28(2016)年			
計算手法 (概要)	<p>森林施業で発生する林地未利用材の低位発熱量は、以下の数式により算出した。</p> $B = \sum_{n=1}^3 \{V_n \cdot Li(1-F_n)\}$ <p>B：対象市町村の未利用材潜在的利用可能量（m³/年） V_n：市町村内の所管別年間伐採量（m³/年，引用元No.2，No.3） Li：未利用材発生率 F_n：所管別伐採事業における短幹システム割合 なお， n=1：民有林 n=2：道有林 n=3：国有林</p> <p>地理空間を考慮する際の重み付け等に関しては，森林は国有林・道有林・民有林でそれぞれ導入機械や路網状況が異なるため，特に集荷量に影響を与える短幹集材の率に着目して市町村別にそれらを導出後に加算した（詳細は引用元データNo.1を参照）。木材の単位m³で集計した後，乾重量トンに変換し，熱量（GJ）換算した（詳細は引用元データNo.1を参照）。</p> <p>見積もりにあたって，特に工夫をしたこととして，賦存量ではなく実際の集荷可能量に近い数字になるように全道約30カ所の伐採試験地から未利用材率を実測し，用いた（詳細は引用元データNo.1を参照）。</p>			
季節変動	なし			
対象地域	全道			
構築データ（メタデータ）				
形式	CSVファイル	ポイント	8KB	
区域単位	市町村	CC BY-4.0		
引用元データ			全道版	地域版
1	酒井明香・寺田文子・佐々木尚三・渡辺一郎（2015）北海道における機械作業システムと林地残材率を考慮した林地残材集荷可能量の推定，森利学誌30（2）：71～78	2015	-	-
2	北海道林業統計より市町村別立木伐採量【北海道水産林務部】	2014-2016	-	-
3	人工林の市町村別伐採計画量（年平均）【北海道森林管理局】	2014-2016	-	-
備考				問い合わせ
				林1